



東山小学校だより

令和元年11月12日

※ 町内配付11月11日

教育目標 「心豊かに たくましく 自ら学ぶ 東山の子」

充実の一日… 文化祭、学習発表会

充実した素晴らしい一日でした。東山地区振興協議会・学校後援会、PTA役員をはじめとする保護者の皆様、地域住民の皆様、民謡「雪之会」の皆様、そして東山小学校の全校児童と職員がみんなで力を合わせて一つになって創り上げた文化祭でした。

作品展示の部では、各学年とも絵画と工作に加え、3～6年生は書写作品の展示、1年生は生活科で行った野菜作りの記録を展示しました。作品を通じて、子どもたちの取組の様子的一端をお伝えできたと思います。そして、例年のことながら保護者、地域の皆様から芸術作品や、日頃から楽しまれている趣味の紹介など、多くの出品をいただきました。おかげさまで文化祭というにふさわしい充実した展示となりました。皆様の作品を鑑賞しながら、ライフワークとして趣味を楽しんだり、創作活動をするというのはとても素敵なことだと感じました。

午前の学習発表会は1年生の元気な「はじめの言葉」で始まり、オープニングは3～6年生の創作ダンスでした。4組のチームに分かれて、それぞれのテーマに沿って表現しました。その後の各学級発表では、1年生は「国語クイズ『説明文 ひみつ発見!』」、3,4年生は「劇『目指せ! 買い物マスター』」5,6年生は「寸劇『世界最強! 東山笑学校』」として、授業で学んだことや、今年度のこれまでの歩みを、それぞれ工夫を凝らして発表しました。準備期間が短かったこともあり、上手く行かないところがあったり、声が小さくて伝わりづらいところもありましたが、子どもたちがみんな笑顔で、楽しんで演じている姿に、見ているこちら側も楽しい気持ちになりました。

全校合唱は、今年も市内親善音楽会で発表した「いつか越えよう大げやき」と「カントリーロード」の2曲を演奏しました。「いつか越えよう…」は旧小栗山小学校の児童会歌でとても良い歌詞の曲です。覚えておられて一緒に口ずさまれている方も見受けられました。

お昼は学校田で穫れたお米を使った「給食室カレー」を召し上がっていただきました。今年は毎日子どもたちが給食を食べている「ふれあいルーム」を昼食会場としました。人であふれる「食堂」の雰囲気は新鮮な感じがしましたが、大変な盛況ぶりに席数が足りず、ご迷惑をお掛けしました。また、通常約30食の給食を作っている給食室の器具で100食以上の用意だったため、友野・篠田の両調理員も最善を尽くしたのですが、お待たせした方には大変申し訳ありませんでした。また食材の調達にあたり、毎年のことながら旧東山中学校同窓会の皆様から頂戴いたしますご寄付と、以前当校事務職員で今年度図書館ボランティアをしてくださっている斎藤様からのご寄付、およびPTA会費で賄わせていただきました。旧東山中学校の皆様、斎藤様、ありがとうございました。



午後は東山地区振興協議会・学校後援会主催の「雪之会」の皆様による尺八・三味線・歌・日本舞踊の鑑賞でした。三味線や尺八の独特の音色、歌い手さんの声量、流れるような踊りにビックリしている様子の子もたちが見られました。テレビやCDなどとは違って、直接目で見て耳で聴く実際の演奏はやはり迫力があり、訴えかけてくるものがあります。私たち大人にとってもそうですが、特に子どもたちにとっては本当に貴重なものだったと感謝しております。

一日を通して、芸術、文化、そして笑顔があふれる素敵な時間を過ごすことができました。文化祭にあたりご協力くださった全ての皆様、ご来場くださった多くの皆様に感謝申し上げます。



牛の角突き千秋楽!!! 今期を振り返って…

2日(土)の角突き千秋楽で今年度の闘牛活動が無事に終わりました(回数は減りますが「牛太郎タイム」は通年で行います)。闘牛振興協議会の皆様はじめ、保護者・地域の皆様のご理解ご協力、ありがとうございました。

千秋楽はミソシや雪が降る年もあると聞いていますが、当日は爽やかな秋晴れでした。牛太郎の対戦相手はヒム2号…牛太郎より6つも年下なので、本来対戦しないし、すれば牛太郎が勝って当たり前…ですが、これまでの両牛の戦いぶりを考えると、牛太郎は分が悪いのだろうと思っていました。が、千秋楽だし、白い牛同士だし、そこそこの良い取組をしてほしいと思っていたところ、なんとか今期いちばんと言えるような取組を見せてくれました。後で平澤忠一郎さんにうかがったところ「本当は来期か再来期に対戦させたかった」のだそうです。何だか申し訳ない気持ちになりましたが、牛太郎にとっては来期へのモチベーションにつながる取組ができ、ホッとしているのが正直なところです。

今期はお盆場所以外は登校日として、全校児童と全職員で参加させていただきました。ちなみに、お盆場所にもほとんどの子が参加してくれて、他の場所と同じように清掃ボランティア・牛太郎の引き回し・闘牛の歌の披露をすることができました。

登校日としたことで、毎回1校時分の生活科や総合的な学習の授業ができたり、実況の木島さんや、篠田隼人さんからお話を聞かせていただいたりする機会も持てました。

東山の子どもたちが、地元の伝統文化である「牛の角突き」にしっかりと向き合えたことに意味があると考えています。大人になって将来的に角突きに関わるのか否か、どちらにしても「正しく知る」ということがとても大切です。高学年でも今年始めて知ったことが数多くあったようです。また会場でのインタビュー活動などの経験や、多くの人との関わりは、今後他の様々なことにも生かせる力に繋がっていると信じています。

